

第45回全国豊かな海づくり大会 基本構想

1 開催意義

(1) 大阪府の特色

大阪府は、人口約 880 万人を有する大都市でありながら、古墳や寺社仏閣などの歴史的建造物や景観、大阪湾や生駒・金剛山地、和泉山脈等の豊かな自然があふれ、国内からの観光客はもとより、多くの外国人観光客も訪れる観光都市として親しまれています。

また、17 世紀以降、日本全国から米や特産物が集まる取引の中心地として栄えたことから「天下の台所」と呼ばれ、その食文化を支える農業や漁業も盛んであり、包丁などの刃物や錫器など食に関わる多くの伝統工芸品も生産されるなど、「食の都」としても知られています。

近年では、2025 年大阪・関西万博を契機として SDGs の推進を加速させ、様々な主体が連携して、持続可能な社会の実現に向けた新たな取組みを進めています。

(2) 大阪府の水産業

大阪湾は、瀬戸内海の東端に位置する楕円形の内湾で、明石海峡と紀淡海峡からの強い潮流と、淀川や大和川などの河川から流れ込む豊富な栄養分に恵まれています。大阪を示す「なにわ」の語源は「魚庭」、すなわち魚の豊かな海であるという説があるように、大阪の漁業の歴史は古く、府内の遺跡からも多くの漁具が出土しており、中近世において大阪の優れた漁業技術が、西は九州から、東は房総にまで伝えられ、日本の漁業の発展に大きく寄与していたと言われてしています。

大阪府全体の漁業生産量は概ね 2 万トンと全国で 35 位前後ですが、シラスの漁獲量は 4 位前後、ワカメの養殖生産量は 8 位前後と多く、その他イワシ類、サワラ、タイ類、貝類など多種類の魚介類が水揚げされ、大都市近郊に位置するという立地条件を活かし新鮮な魚介類を消費地に届ける都市型の漁業が活発に行われています。これらの漁業活動を将来にわたり続けていくため、資源管理や栽培漁業、漁場整備などに取り組んでいます。

内水面では、大阪府の北摂地域の河川では釣りによる河川漁業、河内・和泉地域のため池ではカワチブナ、タモロコなどの淡水魚養殖が行われるとともに、河川環境等の保全を通じて多くの方々に水と魚に親しむ場を提供しています。

(3) 大会開催の意義

近代から高度経済成長期の大阪府では、経済都市として成長を遂げた一方、大阪湾沿岸域で湾奥部等の埋立てや富栄養化が進み、魚介類の産卵・育成の場である浅場や藻場の多くが消失したことで赤潮や貧酸素水塊が発生するなど、漁場環境が悪化しました。その後、法令による排水規制の強化をはじめ、様々な関係者による環境改善に向けた取組みが行われ、大阪湾の水質は大幅に改善されました。現在も、栽培漁業や

藻場の創出等の水産振興施策のほか、港湾エリア等での干潟の再生に向けた取組み、漁業者自らが行う資源管理や漁場環境保全の取組み、府民や事業者等との協働による海洋プラスチックごみの削減など、多様な主体による豊かな海の創造に向けた取組みが進められています。

大阪府で初めて本大会を開催することにより、経済発展による都市の成長と豊かな海づくりの両立をめざす大阪府の取組みを全国に発信するとともに、大阪湾沿岸の多くの方々や事業者等が一体となり、それぞれの地域特性を活かしながら豊かな大阪湾を次世代に引き継ぐような取組みを行う契機とします。

また、多くの方々が大阪の海にまつわる歴史や食等の学びを通じて、府内で生産される多様な農林水産物（「大阪産(もん)」）を身近に感じ、大阪の魅力を再発見するとともに、それらの魅力を国内外からの観光客にも発信し、来阪者の増大と地域経済の活性化を図ります。

さらに、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする2025年大阪・関西万博の開催都市として、万博を契機に促進された環境等に関する取組みや行動変容を後世に継承し、豊かな海が育む水産資源からの健康・食育、SDGs等の取組みを通じ、いのち輝く未来社会の共創をめざします。

2 基本理念

大阪の海や河川等がもたらす豊かな恵みを将来にわたって享受するため、それらを育む環境の保全・創出や水産資源の保護・管理等の取組みを進めることにより、府内水産物をはじめとした大阪の魅力を広く発信し、水産業の振興と地域の活性化を図ります。

3 基本方針

(1) 美しく豊かな大阪湾の保全と継承

G20大阪サミット2019で採択された「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」に基づく海洋プラスチックごみ削減のための取組みや、官民連携による藻場創出等のブルーカーボン生態系の保全活動など、豊かな海づくりに関する情報を発信することにより、SDGsの開発目標「14 海の豊かさを守ろう」の達成等に向けた行動変容を促し、府民や国民の水環境保全に関する認識を深め、豊かな海を次の世代に引き継いでいく大会とします。

(2) 未来に向けた都市型の漁業の推進

漁港と人口が集積している消費地との距離が近いという大阪の特性を活かし、自治体や漁業者、関係団体が連携して行う栽培漁業等の水産振興の取組みに加え、健康増進のための魚食のメリットや効果などを広く啓発し、大阪府産の魚介類の消費拡大に向けて取組みを進めるとともに、府民に海や河川等と親しむ機会を創出するなど、水産業の持続的発展と地域の活性化に資する大会とします。

(3) 「食の都」大阪の魅力発信

「食の都」として知られる大阪府の食や歴史、海や河川にまつわる魅力等について、国内外からの多くの観光客に広く発信するとともに、万博開催都市として、2025年大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」の個々の実践及び共創につながる大会とします。

4 大会の概要

(1) 名 称 第45回全国豊かな海づくり大会～魚庭(なにわ)の海おおさか大会～

(2) 主 催 豊かな海づくり大会推進委員会
第45回全国豊かな海づくり大会大阪府実行委員会

(3) 開催時期 令和8年秋頃（土曜日、日曜日2日間）

(4) 開催場所 式典行事：南海浪切ホール（岸和田市）
海上歓迎・放流行事：府営りんくう公園 シーサイドウォーク（泉佐野市）

(5) 行事内容

① 式典行事

功績団体表彰、稚魚等のお手渡し、作品コンクール入賞者発表、大会決議 等

② 海上歓迎・放流行事

大阪府で漁獲される主要な魚種の稚魚等の放流、漁船による主な漁法の紹介

③ 歓迎レセプション

府内産食材を豊富に使ったおもてなし

④ 関連行事

作品コンクール入賞作品の展示、栽培漁業の企画展示、特産品販売、グルメ等

(6) 大会テーマ等

公募により決定します。

(7) 大会キャラクター

キャラクターは府広報担当副知事「もずやん」とし、コスチュームは公募によりデザインを決定します。